



関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	10	0	必要に応じて担当者会議開催の呼びかけをしています。	原則、児発管が参加しているが、必要に応じて複数名で参加しています。継続していきます。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	10	0	必要に応じて対応しています。	原則、児発管が対応しているが、必要に応じて複数名で対応しています。継続していきます。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	10	0	送迎時にご利用者の様子を確認する等して適切な支援が行えるよう情報共有を行っています。	学校の送迎時のやりとりや、ケースの打ち合わせ等に出席する等今後とも連携に力を入れていきます。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	10	0	必要に応じて対応していきます。	該当ケースはないが、そのようなケースが発生した場合には連携していきます。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	10	0		学校や保育園等との連携は取れていないが、相談支援員の方との情報共有を行っています。継続していきます。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	10	0		相談支援員の方に間に入ってもらう以降支援を行っています。継続していきます。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	10	0		専門機関との連携はまだ少なく、今後の課題となっています。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	0	10		地域の公園での活動を通して地域や社会の人との関わりを持つ機会を多く設けています。継続していきます。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	10	0	協議会などで得た情報については、職員間で共有するようにしています。	協議会等の内容によっては参加する職員を変えるなど、幅広く参加できるよう対応しています。継続していきます。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	10	0		日々の送迎時に活動を報告すると同時に、ご利用者様の課題や今後の支援についても共有するよう努めています。継続していきます。
保護者への説明責任等	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	0	10		ペアレントトレーニングは行っていないが、困りごとや相談等に関しては個別で対応している。子どもの関わり方や日々の困り感への対応を一緒に深めていながら今後は必要に応じて研修等を行ってきたいです。
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	10	0		契約時に手摺に行っている。変更があった際は資料を提示してより丁寧な説明を行うようにしています。継続していきます。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	10	0	半年に一回個人懇談の機会を設け日頃の様子と合わせて丁寧に支援計画の説明を行っています。	児童発達支援ガイドラインを基に個別面談で要望を丁寧に聞き取り、個別支援会議や職員の情報共有を通じて作成した物を時間をしっかり取り丁寧に説明を行っています。継続していきます。
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	10	0		送迎や面談時に行っています。保護者からの相談があれば保護者の了解のもと、職員や関係機関等と情報共有し必要な支援を適宜行い、経過も共有しています。継続していきます。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	0	10		父母の会が存在しないので直接的な支援はできていないが、保護者が参加できる企画をするなど、保護者同士が交流できる場を設けていきたい。子どもたちが活躍できる場兼保護者同士が交流できるような場の提供ができるよう工夫していきたいです。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	10	0		送迎や面談時に行っています。保護者からの相談があれば保護者の了解のもと、職員や関係機関等と情報共有し必要な支援を適宜行い、経過も共有しています。継続していきます。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	10	0		月に一回のおたよりや、HPを通じて発信を行っている。引き続き行事予定表を作成し配布していきます。
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	10	0		個人情報の取り扱いに関することについては必ず書面に同意を得ている。個人情報を取り扱う際は書面の確認を行い十分注意して扱っています。継続していきます。
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	10	0		ご利用者様に対しては、それぞれの特性に合わせた伝達方法を職員間や保護者と共に情報共有し確認を行っています。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	10	0	事業所内でイベントを行う際にポスターが見えるように掲示しています。	事業所内でイベントを行う際にポスターが見えるように掲示しています。継続していきます。

非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	10	0	定期的にマニュアルの見直しを職員全体で行っています。	見直しや変更があった場合や年度替わりには改めて各マニュアルを周知していきます。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	10	0		月一回の訓練実施が市で義務付けられている為、避難訓練や通報訓練・非常食の勉強・避難場所や避難経路の確認・防災センターの見学や体験等子どもと共に学ぶ活動を取り入れています。継続していきます。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	10	0		半年に一回個人懇談の機会を設けているのでその際に確認を行ったり、必要に応じて随時確認を行っています。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	0	10		保護者からの食物アレルギーの情報があれば提供していない。医師の指示書までには至っていないので、今後対応していきたいです。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	10	0		行っています。それを基に職員会議で情報共有を行っています。継続していきます。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	10	0		社内研修を行う以外にも、外部の研修に参加できるよう体制を整えています。継続していきます。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	10	0		保護者の方から同意書を頂いています。身体拘束についてファイルを作成し、記録を残しています。継続していきます。

○令和5年4月～令和6年2月までの児童発達支援のご利用者様なしです。